



ちょっとお出かけ い〜な旅
2016/08/10 (水)

平成 28 年度 第 4 回

美和ダム内部探検と湖畔散策

い〜なガイドの会
プロジェクトメンバー
湯澤 敏

暑い日差しが照りつける中、夏休みでもあり、幼児、小学生など 27 名が参加しました。

車内では、ガイドから「霞提」「大明神の不動明王」「火灯平の絵島の話」などを聞きながら美和ダムに着きました。

今回はダム内部の探検です。初めての体験とあって皆緊張ぎみ、ヘルメットを被り、中に入りました。二百段近い急な階段を一気に下ると、内部の温度もぐっと下がって、寒いくらい、外の暑さを忘れてしまうほどでした。手すりをしっかり持ち、足をがくがくさせながらダムの底に着き、発電所に出ました。出た途端、暑い風にあたり夏を感じました。発電所から見上げる美和ダム堤体は巨大でその迫力に圧倒されました。

その後、また約二百段の階段を登り、ようやく出口に到着した時は皆さん大分疲れた様子でした。

このあと美和ダム湖畔の木陰の多い道をゆっくりと歩きながら、湖の風景や道端の花々を楽しみました。途中、しま蛇に会って、びっくり大騒ぎをしながら歩いたのも楽しい思い出になりました。

神田橋の上からの眺めは素晴らしく、湖の緑と両側の山々の緑それにさんさんとそそぐ太陽の光、遠くに望む分杭峠この場所は一度は眺めて欲しい場所です。

溝口露頭では、日本が出来る頃、約一億年ほど前の大地の移動の様子の説明を聞いて、大自然のすごさを知ることが出来、

参加した小学生は内帯の白っぽい石と外帯の黒っぽい石を触って確かめていました。

最後の見学は熱田神社でした。この神社でめずらしいのは鳥居が三カ所にあることで、神社の裏側にある本殿は「伊那日光」と言われるすばらしい彫刻があり、参加者はこの山の中にもすばらしいものがあると、感心しながらバスに乗って帰りました。